

1. 件名：島根原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査（特定重大事故等対処施設）に関する事業者ヒアリング（3）

2. 日時：令和4年11月21日（月）14時00分～15時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、野田企画調査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与

中国電力：電源事業本部部長 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・島根原子力発電所日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
- ・島根原子力発電所2号炉基準地震動について標準応答スペクトルに関する検討
- ・島根原子力発電所2号炉特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る審査の進め方について（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁の馬場です。
0:00:02	ではこれ、今時間になりましたのでこれからヒアリング始めたいと思います。今回の案件として前回説明いただいた長期評価の件からご説明お願いいたします。
0:00:18	はい。中国電力の鹿島と申しますよろしく申し上げます。それでは、10月の27日に1度資料の方をご説明させていただいております。本日はですね、進め方といわしをしましては先ほどおっしゃられた通りまずは、
0:00:32	右方001の長期評価の影響についてこちらのリバイス版で変更、修正の概要をご説明させていただいた後に1度、質疑、
0:00:42	そのあと引き続きで、質疑を挟んで標準応答スペクトルの関係ですね、こちらについても同様に、前回からの修正内容を自己ご説明の後質疑応答。
0:00:52	で、三つ目の議題としましてこちら一度面談の形でご提出させていただいておりますスケジュールですね、こちらリバイスをかけてございますのでこちらの説明を三つ目ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:04	さしていただきたいと思います。いずれも説明はこちら対面の方でさしていただいて、必要に応じて適宜、必要があれば本社側のリモートから もご回答させていただくことがあることをご容赦ください。
0:01:15	まずは、長期評価の説明ですねこちらの資料について前回からの修正を中心にご説明させていただきたいと思います。
0:01:24	前回の紙も一度こちら説明させていただいたときにですね、一つ大きな修正今回は、以前基準地震動と津波を同一のフローの中で説明している という点がございましたので、こちらを改めまして、
0:01:37	基準地震動の評価、基準津波の評価ということで、別々で分けてですね、資料のフローを修正してございます。
0:01:45	あと、個別の断層の評価につきましても前は、長期評価との差再違いの部分というところを中心にこういうところが違うんでしょうという分析 まででとどまってちょっと中途半端な記載となっておりましたが、
0:01:59	今回は、事業者としてどう評価するのか、これを変更するのか、しないのかというところをですね明確になるような文章に修文するとともに、
0:02:08	事業者の負担層と長期評価水位、地震本部の断層をですね、上下で並べているところが、どの断層とどの断層が対応するかとちょっとわかりにくいところもございましたね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	そういったところを、できるだけわかるように、修正したつもりでございます。こういったところを中心にですね、変更概要をまずご説明させていただきます。
0:02:29	お手元の資料の3ページ、ご確認ください。
0:02:33	今回長期評価と、我々当社の評価のですね違いというところは大きく二つ柱がございましてこちら前回以前もご説明させていただいておりますが、一つはですね、
0:02:44	基本的に敷地前面、我々の前面の海域につきましては次本部さんも、事業者の中国電力の資料、大庭田崎6を参考にしているというふうに記載がございしますが、
0:02:56	こちらが具体的にはこの3ページの右の段に、右の列に書いてございます。2014年の3月19日の審査会合の資料ですね、敷地周辺海域の
0:03:07	活断層評価というこれは審査途中の評価の結果でございますが、こちらが参考文献として具体的に記載がございします。
0:03:15	で、当社としましてはその後審査での指摘を踏まえまして、データの拡充の観点から追加調査をしております。最終的には評価の許可をいただいた段階ではですねそういった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:27	追加の調査これマルチ、マルチの、バタバタ結果ですけどこちらを付け加えたものでですね最終評価をしてございますので、より精度の高い調査をしているというのが、当社の値、
0:03:39	当社と水、地震本部さんの違いですよということをこれまでご説明させていただいておりましたのでこちらが時系列でわかるような形で今整理をしてございます。
0:03:47	もう1点は表の2行目でございますが海域活断層の認定ということで、こちら地震本部さんの方は、赤線でアンダーライン引いてございますが、基本的には海底直下の鮮新世以降の地層に5ないし10メートル以上の上位変位があると。
0:04:02	いうところでもって活断層かどうかというのを判断されているところで当社土地が、当社におきましてはですねこちら、あと設置許可基準規則ないし外力ガイドを踏まえましてですね、後期更新世以降、
0:04:15	十二、三万年前の地層で評価をしている、この違いがあるというところを、もう少し詳細な資料ということで3ページの資料を新たに追記してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:24	こちらの4月に一度御説明さして面談の中でですねご説明させていただいた際に一度つけてございましたのでこちらを改めて再掲する形で資料を整理いたしました。
0:04:35	続きまして5ページお願いします。
0:04:38	5ページが諸フローですけれどもこちらは前回、基準津波と実は津波の評価と地震動の評価が混在するような形のフローになってございましたので、そちらを
0:04:48	コメント踏まえましてですね、適正化を図ってこちらは、5ページは、地震動に関する評価として整理をしたものでございます。
0:04:57	すいませんそれではちょっとページ飛びますけれども、9ページをお願いいたします。
0:05:06	9ページ以降が、MΔで影響が大きいと抽出した猪水地震本部さんの断層のうちですね、MΔで比較的震度階5以上のものを抽出してそれぞれにつきまして、
0:05:19	当社が評価している断層との対比を行って、これまでの当社の断層評価を見直す必要があるかどうかというところの各論に入るところでございますが、9ページの資料で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	青字と書いてあるところがですね加筆修正をしてお答えしてございます。
0:05:36	前は、当社の評価が妥当ですというような書き方で終わっておりましてこの辺りですね、今回の評価今回の地震本部さんの評価を踏まえて見直すのかどうかというところをもう少し、
0:05:48	わかりよいようにということで記載の方見直しでございまして、こちらはですね、鳥取沖宗西部断層東部断層に対応する法規断層体というのが、
0:05:58	記載されておりますが、我々としましては、追加調査で、マルチで非常に精度の高い表、調査結果をもとにですね、活断層を認定してございまして、最後の行を記載してございまして地震本部 2022 を踏まえても、
0:06:12	既許可における断層評価長さを見直す必要がないと評価したという形で、表現の方を修文させていただいております。
0:06:20	同様にですね、これまでの追加調査でマルチ調査マルチ音波探査の結果を使って評価をしている断層につきましては、同様の記載を、で統一させてございます。
0:06:31	続きます、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:33	ちょっと資料が飛びますけれども、19 ページご確認ください。
0:06:40	こちらは、地震本部さんが、島前西方沖断層ということで28キロ評価されているものでございます。こちらにつきまして当社の対応する断層といたしますのが、
0:06:50	下段の方のF K0断層という約32キロというふうに書いてございますこちらが当社の評価、対応する断層になります。
0:06:58	で、前回も、こういった紙類の資料がですね、どれとどれが対応するのかがちょっとわかりにくいといったところはですね、範囲で、青丸でこの断層が対応しますというところ、若干明確になるように、ちょっと資料の方を修正させていただいております。
0:07:15	こちらの断層につきましては、既許可という下段の方の図を見ていただきますと、緑で、音波散乱探査の測線が記載してございます。これが追加調査。
0:07:26	をした測線でございます、
0:07:29	このF K0断層というところまではですね追加調査のパターン、探査測線を読んでおりませんので、こちらは地震本部さんが読まれた、おそらくこちらの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	産総研さんが走られたときの音波探査記録の再解析されていると思います。こちらについて我々もですね同じ記録を読んでございまして、同じ音波探査記録ですので、衛藤。
0:07:52	結論の青字で書いてあるところに記載しておりますように調査制度に差があるわけではないので、こちらはですね、当社の評価の方が精度が高いというようなことは言えませんが、
0:08:06	断層の長さを見ていただきますと、ご覧いただきますように、当社の方はですね、江藤F K0断層を32キロというふうに長目に評価しているのとあわせてですね。
0:08:17	その隣接するK1撓曲経理当局というものも含めて、36キロの長さで評価しております、当社の方が保守的な評価になってございまして、結論のほうを記載してございしますが、
0:08:29	地震本部2020よりも2020よりも保守的な評価となっているため、
0:08:35	既許可における断層評価長さを見直す必要がないと評価したというふうに結論づけてございます。
0:08:41	同様に、同じようにですね、他機関の記録の再解析によって当社が長い結果として長く評価している断層についてはですね、同じような記載の内容に修文させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:55	続きます。すみません衛藤清ちゃんと資料飛びまして 26 ページをお願いいたします。
0:09:03	こちらが、刀禰滝口北方断層体という新本部さんが銘打ってらっしゃると断層、ちょっと断層が非常に広大しておりますがこの上側の図でいきますと 7-17-2 っていうこの青黒近くで (ア) の、
0:09:18	囲った断層がですね、このネタ切り方向断層体ということになります。こちらにつきましては当社の既許可の中ではですね対応する断層は、名前を付けて記載をしてございませんでこちら式、
0:09:33	対応する断層がございませんで、こちらの範囲につきましても先ほどと同様、当社の追加調査の範囲の外側に位置するものでございますので、調査精度にも差異がない。
0:09:45	なおかつ、地震本部さんの方が永見の評価をされているということで、こちらについては、こちらの地方さんの知見を踏まえてですね、この寝たきり北方断層隊、
0:09:58	これを新たに評価し、評価するというふうに判断いたしました。
0:10:04	ですので今回改めてですね、これまでは断層の名前をつけておりませんでしたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	こちら地震本部さんの寝たきり北方沖断層、約 57 キロ、こちらを評価することにいたしました。
0:10:21	それ以外の個別の断層も先ほど申し上げました三つのパターンで二つのパターンですね、追加調査で端部を決めている断層、もしくは、
0:10:31	他機関の記録であってもですね、当社の方が保守的な評価をしているものは評価を変えないという整理をしておりますが、先ほど申し上げましたように滝口北方沖断層、こちらだけはですね、
0:10:42	同じ滝川の記録の評価であります、当社の方が、身近な評価となっ てございましたので、推本さんの知見を踏まえて、新たに評価に加える というふうに判断したものでございます。
0:10:54	その結果を 32 ページですね、それぞれの断層の評価結果の一覧とい うことで、記載をしております。
0:11:07	最終的にですね、荒谷断層、
0:11:12	結局庭木許可における断層評価長さを見直して見直したものが、滝口北 方沖断層になりましたので、こちらが検討用地震と比べてどうかとい うところを 33 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:23	海成のスペクトルとの比較で、評価を行った結果でございます。こちら 3、33 ページに書いてございます。赤色の線がですね、許可で、
0:11:33	評価してございます、F3F4F5 断層という3年度の断層ですね検討用 地震にしている。
0:11:40	断層ですけれども、こちらと比べますと、すべての数の周期体で、この 2度方向北北東沖断層ですね、こちらは包絡されているということを確認 しておりますので、
0:11:52	地震動評価結果に影響はないというふうに評価をしてございます。
0:11:57	今申し上げた流れをですね、35 ページ、ご確認ください。こちらが、冒 頭でご説明させていただきました、フローにですね実際にどの段階でど の断層がスクリーニングで落ちているかというのを、
0:12:11	改めて結果を整理したようなものでございますけれども、
0:12:15	まずは
0:12:17	今回せ、抽出した断層がそれぞれエムデルダ図で震度5以上ということ でまず網かけた上ですね、清川の評価断層との対比によって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:27	これまでの評価を見直す必要があるか否かというところを評価した結果、赤字で書いてございます。寝たきり北方沖断層体、こちらだけは、既許可における評価の、
0:12:38	見直しが必要だというふうに判断してございますので、こちらを基準地震動への影響評価ということで、体制のスペクトルとの大小関係で評価を行う。
0:12:48	結果としましてはいずれの断層もですね、基準地震動に影響を与えるものではないというふうに判断してございます。
0:12:56	で36ページ以降が、今度は津波への評価ということで、津波の評価のフローを記載してございます。これまでの津波につきましては特にMΔで、大小で落とすというような作業をしてございませんで基本、
0:13:09	半径350キロ圏内の文献断層ですねいずれを阿部式の中で落とし込んで、基準津波に影響があるかないかというような評価をしてございます。その流れに基づいて、
0:13:20	整理をいたしました。37ページに、
0:13:23	今回150、100、半径150キロ圏内の断層すべてですね、記載してございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	紫色のハッチのものと赤ハッチのものに色ございますが、紫色のハッチ掛けのものは、前段の地震動評価の中で、すでにもう、今回の当社の事業者のは、断層の長さを見直す必要がないというふうに、
0:13:44	評価をしてございますので、これ以外の 150 キロ圏内の断層についてですね、
0:13:50	38 ページで、
0:13:52	安倍式で大小関係を比較した結果でございますが、結果といたしましてはですね、地震動と同様、F3F4F5 断層、こちらの 3 年度に基づく、
0:14:02	津波評価がですね、ほとんど他号機と影響が大きいということで、こちらについても、津波の評価を変える必要はないというふうに考えてございます。
0:14:13	以上申し上げました基準地震動への影響面、基準津波への影響というところの結論をまとめ方として、39 ページに記載してございます。内容については割愛させていただきます。
0:14:25	長期評価に関する影響評価の結果についての説明は以上です。
0:14:32	はい。ご説明ありがとうございました。そうしましたら規制庁側からは確認等を行いたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:39	ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:14:43	じゃあ、もう初めに、私はわからない1点だけ。
0:14:47	申し上げます。
0:14:50	ページ、15ページをちょっとお開きいただけますでしょうか。
0:14:58	15ページに書いてある出雲希断層なんですけども、地震本部では31キロ等長さが、
0:15:08	提示されてて、本社では19キロとなっていますが、これ、
0:15:12	本当にこの場所の断層で同一のものなのかちょっと改めて確認を行いた いと思うんですけども。
0:15:21	いかがでしょうか。
0:15:24	はい。中国電力の鹿島です。
0:15:28	そうですね。ちょっとあの、ちょっと15ページで植田上段のですね、 地震本部さんのが、ちょっと全体の位置関係がちょっとわかりにくいの で。おっしゃられるような疑念があるのかもしれませんが。
0:15:42	これ全体形もちょっと、ちょっと待ってくださいね。
0:15:45	こちらにつきましては2ページに、
0:15:49	全体の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:51	断層分布でございまして、こちら2ページで言うところの3番っていうところが、この出雲沖断層になってございます。で、これ全体の位置関係と見てですね今回我々が評価しているF K1断層とも位置的には非常に似通ったところになっているので、
0:16:09	おそらくこれが対応する断層というふうに判断してございます。つまりちょっと定性的な言い方になって申し訳ないんですが、このあたりは、両者におきます、位置的にはですね、これが対応するものだというふうに考えてございます。以上です。
0:16:36	規制とサービスにしてくる。
0:16:38	ちょっと今の、
0:16:40	対応するかしないかって話なんですけど、これって、8ページか何かを見れば、
0:16:45	んじゃないのかなと思ったんですけども、そういうわけではないんでしょうか。
0:16:57	あ、はい。中国電力加島です。すいませんおっしゃるように8ページの方でも、より明確にわかるのかなと思って申し訳ございませんでした。すいません失礼いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:09	規制庁馬場です。ありがとうございます。
0:17:15	田井さん、わかりますか。
0:17:29	規制庁の松江です。
0:17:33	対応は先ほどの、
0:17:35	8 ページで見るとということなんですけども、
0:17:41	そういう評価をした結果ですね。
0:17:44	33 ページと 34 ページに、
0:17:48	地震動計算、
0:17:51	した結果で、
0:17:53	影響はないんだというふうな説明をされてるんですけども、この計算した。
0:18:01	断層っていうのは御社が評価した断層ですよ。
0:18:08	本社が評価した断層で、
0:18:11	結局は
0:18:14	基準地震動を超えてませんよっていうのはもうそれは済んだ話で、
0:18:20	地震本部の評価の断層が超えてるか超えてないかっていう議論にはなっていないんじゃないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:28	中国電力の秋山です。例えば 33 ページに書いてございますのは、この赤、表で赤で書いてあるのが、もともと島根での、
0:18:40	33 ページになりますけれども、
0:18:43	投票で赤で書いてある F I F O F 5 断層これが、島根の検討用地震、これまでのものです。で、今回、この下の南波野々村木口北方
0:18:55	これにつきましては先ほどの推本の長期評価に記載されている断層諸元を使って、
0:19:05	地震動評価をした、そういう結果の比較になってございます。
0:19:11	ちょうど質問が悪くて 33 ページはそうなんですけども 34 ページの方です。ね。
0:19:17	これは御社が評価の変更は必要ないと。
0:19:22	したんですけども、
0:19:24	計算の結果は御社のモデルですよ。
0:19:28	だからその辺が、
0:19:30	本当に地震本部の、
0:19:33	評価した断層の影響が、
0:19:37	ほぼ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:39	ないんだというふうな論理が、
0:19:42	成り立つかどうかについて、いかがですか。
0:19:49	中国電力秋山です。衛藤さん 14 ページの方につきましては、これ、
0:19:57	タイトルのところに参考というふうに書いてございますけれども、あくまで参考として付けているものですんで、これはこれまでに評価した、各断層ここの表でF K1 断層以降、いろいろ書いていますけれども、
0:20:14	これ、らがこういったレベルにあるのか、地震動としてこういったレベルになるのかというものを示してございます。で、各F K1 とかの、
0:20:26	そういった断層が、今回の推本のどの断層に対応するかということをお示しすると。
0:20:34	いう意味で色彩をして地震動のレベルを記載しているというものでございます。
0:20:40	すいません中国電力の鹿島です補足させていただきます。35 ページにです、最終的な弊社の評価をフローの中に、結果を追記してございますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:51	先ほどおっしゃられたような、保木断層体とか島根半島北方沖断層体とか、それぞれ、全部で七つ今回ピックアップして評価をしていますが、
0:21:03	めたくより北方断層体以外の六つにつきましては、フローの中ですね、中央下寄りに既許可における断層の評価なんかさ、長さの見直しが必要かという判断。
0:21:15	判断のもとで、1 から 6 までの断層は、基本的にはすべて、当社が実施した追加調査の結果、精度の高い音波探査で端部がはっきり決められておるので、
0:21:28	その断層評価長さを三つ
0:21:31	地震本部さん断層の中ですねそのまま評価するものではないということもしくはより保守的な評価になっているので当社の評価を変えるものではないと、というような判断をさせていただきますので、
0:21:44	その参考にですね、スペクトルを見ることは可能なんですけど、我々の評価としましてはですねこの 1 から 6 番につきましては見直しが不要だというふうに判断をさせていただきます。以上です。
0:22:05	一応、伺いました。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:15	僕聞いていいですか。はい。
0:22:18	戸谷ですけど、これあれですねじゃね滝口李。
0:22:23	北方断層隊っていうのはただ単に推本と、
0:22:28	比べて、同じものをデータ元データ同じものを使っているから精度の差がないから、この後、推本の評価っていうのもありだろうというような、
0:22:39	そういう評価をしたっていうふうには受けたんですけど、これってそもそも、
0:22:47	ちょっと僕はよくわかってないのかもしれないですけど、これ評価基準が違うじゃないですか。
0:22:54	3 ページのですね。
0:22:56	認定の、
0:22:58	推本と当社の評価っていうのも違うっていうことがここに書かれてて、
0:23:05	何かもともとは何かこの辺の基準もこう違いが、差異があるっていうようなことも何か言われてたと思うんですけど。
0:23:13	この子、
0:23:14	この寝たきりに関して言うと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:17	それが
0:23:19	この評価の認定基準っていうのは、
0:23:23	特に
0:23:25	なんていう確認確認というか、
0:23:27	もう、
0:23:28	認定基準が違うからこの長さ、長さというかこういったものがこう違いが出てるとかそういうことも、特に考えているわけではない。
0:23:37	食ってとにかくこの推本で57キロだから、このデータは、
0:23:43	もあり得るだろうっていうような話なんですか。ちょっとその辺がわからなくて。はい。中国電力の鹿島です。えっとですね、27ページ、例えばですけども、
0:23:53	こちらをご確認いただきたいんですがこちらが、おそらく、推本さんも同じ記録を、
0:24:00	プロファイルされてるんじゃないかなと思うんですけども、こういった形でこれ産総研さんのエアガンのシングルなんですけれども、
0:24:07	非常にエアガンですので、今の本来でありますとですね、B層っていうところが変位変形してるかどうかっていうのは、もう少し解像度の高い

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ウォーターガンでありますとかブーマーといった、特にはマルチで見るのが一番、
0:24:22	理想的だと思ってますんで、藤さん当社追加調査では、そういった音源の監査はしてるんですが今回の寝たきりの範囲につきましては、このエアガンのシングル、
0:24:34	ぐらいしかですね評価がなかなかないので、この中で、B層が動いて動いてないというのはなかなか厳密に論じるのは難しいのかなと。
0:24:42	思いましてですね、
0:24:45	筒井郷さんがどういう解釈のもとでプロファイルされたのかというところはちょっと厳密にはわからないところはあるんですが、同じ精度であれば、この鮮新統が動いて動いてない日、更新統が置いてるっていうところの議論も難しいのかなと思ひまして、
0:24:59	ここはもう保守的に文献の断層の長さを評価することにいたしました。以上です。
0:25:09	はい。お考え確認できました。だから認定基準は違うけどよくその根拠としてはよくわからないから、
0:25:16	ということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:18	中国電力清水です先ほど鹿島が説明した 27 ページの、我々としては、 この
0:25:25	G C の L 測線というところで、B 層、緑の線ですね、これはエアガンで 非常に見にくい記録ではありますけど、ここは評価できるということで 切れてないということで、当時
0:25:39	黒い断層線ということで活断層じゃないという評価をしておりました粗 相が言いましたけどエアガンで非常に読みにくい記録で市基準もですね C 層まで考えるというところが推本さんはあるので、
0:25:51	この辺の考え方の不一致でこの辺の強化が異なってるところあるかもし れませんが、何回も聞く記録の話が難しいのもうここまで評価しま すという、そういった考え方でございます。谷さんがおっしゃる通りだ と思っております。以上です。
0:26:09	ちょっともう 1 回くどい言い方をすると、
0:26:12	中国電力はこの B 層も、今、今推本の評価を改めて見ると、B 層も動い ていないとも言えなくなったというふうに考え始めたってことなんです か。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:29	中国電力の鹿島です。ここ今 27 ページでいきますと端部の測線と考えてないというここはB層というよりもむしろC層の中にも断層がないところという判断をさせていただいて、
0:26:42	断層があつてのB層が動いて動いてないという判断をしている測線でございます。
0:26:53	タニですはい。状況わかりました。ちょっとその辺のね、この資料を見てですね、我々、
0:27:01	どこまで考えてその評価にしているのか中部中国電力としては当初の判定自体をやっぱりちょっと変える必要が出てきてるのか。んな言い方悪いですね。
0:27:15	当初評価したものが、やっぱり改めて見るとちょっと違うんじゃないのかとかそういう話をしているのかどうなのかっていうのが、ちょっと何かわかるように説明していただけたら、いいのになつていうふうに思いました。
0:27:27	状況は、何となくわかってきました。これって、結局このね滝口北方断層隊っていうのを新しくこう認めるっていうことは、
0:27:37	テンロクも書き換えに行くっていうことでいいんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:41	はい。中国電力の鹿島です。江藤。おっしゃられる通り今後補正の中で ですね、こちら、長期評価を踏まえた知見ということで、滝口方法沖断 層評価する旨、直したいと思っております。
0:27:54	はいたんです。その時はあれなんですか。この長期評価を踏まえるとみ たいな書き方をするんですか。それぞれともな、単純にこう、
0:28:02	今までの記載に加えていくような感じで考えても、まだはっきりしてな いのもかもしれないんですけど、ちょっと状況だけ確認、今、谷さんがお っしゃられた後者の方でですね、ちゃんと文献も見た上でこういうもの がありますというような形で書いていくのも一つなのかなというふうに 考えております。
0:28:24	はい、谷です。はい。状況わかりました。
0:28:28	あとはですねちょっと私これ資料見ててこの 32 ページの、
0:28:34	これ多分、僕らが一番、
0:28:41	見るページ。
0:28:42	なのかなってちょっと地震動に関して思ったんですけど、この値なんか 数地震本部を踏まえた評価って右側の表にあるじゃないですか。この、こ の文書って多分大事で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:52	これぱっと見るとですね、何かわかりにくいんですよ文章がちょっと。
0:29:00	ここ前のページの
0:29:03	結果を踏まえて走りすぎているというか、もう例えばこの表だけを見た時に追加調査により行って、
0:29:11	の追加調査か、どこの追加調査かわかんないし、既許可評価の方が精度のっていう話も、やっぱりこれは推本と比較しての話をされてるんだと思うんですけど。
0:29:22	何かその辺もうちょっとこう丁寧に書いた方が、これはいいかなというふうに私感じました。
0:29:31	その辺おまかせしますこれでも、資料全体を通して見るとわかると思う。
0:29:37	ています。
0:29:40	はい中国電力の加島です。今おっしゃられた点も踏まえてですね、ここをもう少し明確になるような形で十分考えてみたいと思います。以上です。
0:29:49	あとはね、ちょっとこれはもう細かい話なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:54	何か、例えばさっきの 19 ページ
0:29:59	パパさんが確認しましたけどこれって何、何て言うのかな。
0:30:03	そもそも版、この黄色の線の凡例が何か、
0:30:07	有井。
0:30:09	パッと見てですね推本でこうなんですよってという話と、これが既許可 で、家 F K を断層、
0:30:17	こう評価してるんですよ。
0:30:19	とかいうのが、
0:30:24	これあれですね F K 大手中、中国電力の評価の話ですよこの黄色の 線。
0:30:30	それがね。
0:30:31	なんかね、いろんな図面からね。
0:30:35	判例があればこれ何だろうなって思うようなところが直接ありましたよっ ていうので、付けれるんだったらつけてください。
0:30:45	はい。中国電力の鹿島です。承知いたしました。
0:30:58	施設サグチですけど、ちょっと細かいところついでに、今のページで、
0:31:03	ここ 0、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:04	多分わかる人はわかるけども、わからない人はない話。
0:31:11	今 19 ページで F A O 断層 32 キロっていう数字だったわけですけど、
0:31:17	これ、黄色い線が、必ずしも 30 受けて、シーシーエスと J P、
0:31:24	120 ですか、この測線の間が 32 キロ。
0:31:28	ていう、
0:31:29	形だと思うんですね。今この図を見ちゃうと、この黄色い線だけで 32 キロみたいに見えちゃって、下も、例えば凡例タスケールがあって、こ の 10 キロという視点で、
0:31:41	見て、うん、これ 30 件もないんですよ、当然ながら、すいません。
0:31:45	おんなじように私最初のときに、8 ページで、これ比較。
0:31:49	どっかでわかりますよねってお聞きした 8 ページを見ると、この 4 の線 を見ると、赤と黄色で赤がもともと御社が評価した長さ、安里断層で、
0:32:01	黄色が今回の地震本部の評価なんですけど、どう見てもこれ黄色の方が 長く見えるんです。
0:32:09	だから、そういう意味で、まず
0:32:13	評価として、何キロって言うてるのは、他の
0:32:17	実は断層ってちゃんとその下の市当局とか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:22	からF K断層みたいなところ、単位なり 34 キロですよってというような矢印があるんですけど、このF系断層については、特にそういうものがなくて、
0:32:32	この文章を見ると、F系大庭層っていうのが、
0:32:36	この地震本部分を、
0:32:38	増税西方断層でしたっけ、それより長いっていうふうに書かれてるんですけども、そういうふうにはちょっと見えないんです。
0:32:47	そこはですね、ちゃんとこういうふうには評価をして、32 キロという評価をしています。
0:32:52	一方で、このローデン西方断層というのは、今これ多分この線の長さそのものだと思うんですけど、これで28度で、そういう長い、
0:33:03	いうふうにはちゃんと説明をしていただければわかるんですけど、何か今この絵だけを見ると、
0:33:08	ちょっとあれ、どうかなっていうことは、そこはちょっと背もちょっとその正確性というのは、
0:33:13	そういうところを別に、きちんと示していただきたいと思います。
0:33:17	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:19	はい。中国電力の鹿島です。ご指摘ありがとうございます。今おっしゃられた通り、我々が評価してる 32 キロというのは測線から測線までの長さを拾っているところと、今、
0:33:30	断層囲っているところ 32 キロ高久と、ミスリードするようなところがあるかと思います。他の断層の絵も含めてですねもう一度そういう意味でチェックをしてですね、誤解が招かないように、適切な記載にするように修正いたします。以上です。
0:33:51	はい。規制庁佐口ですけど。よろしくお願ひしますで、すいませんもう 1 点だけ細かいところついてる。26 ページの、
0:34:01	この値段器具李国交断層体なんですけど、これはおっしゃることは何となくわかるんですけど、今回その青字で最後追加された部分あるんですけど、その前に、
0:34:15	この 2 ポツ目って、ちょっと文章的にですね、
0:34:18	あまり何かよくわからなくて、結局評価ではどうしていったっていうのが、多分他の断層とかっていうのは、結局統一されていて、ここだけ何か、
0:34:29	断続的に認められるっていうふうだけで終わっちゃってるんです。多分これって 3 ポツ目の最小のところが実はこの 2 ポツの最後の部分って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:38	あくまでも断続的に認められるんだけど、それについて、
0:34:43	要は全く断層でも何でもないって評価してたっていうとそうでもなく、 いわゆるその小さいもって後の何ページとしてさ、伝える二、三十、
0:34:53	2 ページとか持たれてるように、いわゆる小さい、いわゆるここに千 野断層みたいなそういう仕事は実はしていたはずなんですけど、そうい う何か今、どういうふう人评价したと。
0:35:04	設置していたかっていうのが、この 2 ポツの文章ではなくて何か 3 ポツ 目のさ、最初にこうあって、むしろ 3 ポツ目の最初のって、
0:35:14	何かそそうじゃなくって、その一方で、推本ではこういうふうに、
0:35:20	ちょっと設定されててどうだっていうことをさ、されれば終わりなのか なと思ったんですけど。
0:35:27	ちょっとその辺、認識、違います。はい中国電力の鹿島です。今佐口さ んおっしゃられた通りでございます二つ目のポツのところに、評価とし てですねどのように評価していたかというのが、
0:35:39	書いた方がですね、わかりやすいしま我々が言いたいこともそういうこ とですので、こちらもですね、今おっしゃられた点を踏まえまして、修 文させていただきたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:51	はい。規制庁サグチです。よろしくお願いしますはパスタ上です。
0:36:07	規制庁の野田です。
0:36:09	私から2点、26ページ、さっきからちょっと話題になってるこのネタ。
0:36:15	ジブリ公団総体のところで、
0:36:18	下の既許可のところで、青い線が引かれてると思います。これね滝口断層約57キロって書かれてんですけど、この青い線の定義は何ですか、ということ。
0:36:31	イメージされてますか。
0:36:34	はい、中国電力の鹿島ですすみません、こちらちょっと、今野田さんのご指摘いただいてですね、ちょっと私もあると思いますこちら既許可では、特に長さというのは、評価してございませんで今回、
0:36:47	改めて文献を踏まえて、この57キロというのは、推本の方で評価された中をそのまま用いるので、ここの図に書くそうですね、既許可の中でこのように57キロと評価しているというふうに、岡山。
0:37:01	表現になってございましたので、ちょっとこちらの書き方ですね、修正させてください。申し訳ありませんでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:07	規制庁野田です。ありがとうございます。はい。その通りで、私今日から見たんですけど今日からとか京野からヒアリングに参加したんですけどこれ見ると、いかにもその許可で57キロって評価してるように見えてしまって、
0:37:20	推本との関係後は下の箱書きとの関係がちょっと
0:37:26	一瞬混乱してしまったら多分そういうことだろうと思ったんでそこはちょっと書き分ける必要があるかなと思いますので、今鹿島さんご説明あった通り、少しそういったところがわかるような形で記載の適正化を図っていただきたいのと、
0:37:39	あとは、下の箱書きの、2ポツ目と3ポツ目のところはもうさっき、先ほど谷さんとか、佐口さんからコメントがあった通り、
0:37:51	何、と基本的には同じ考えなんですけど、
0:37:55	もうちょっと御社が、御社はしっかり評価をされていて、かつ、
0:38:04	を我々はこれ、敷地への影響という観点で見ているんで、その個別断層単体の評価のなんすかね。
0:38:11	どこまで取り上げるか。つまり、今回で言うと多分大田沖断層なんかがあるんで当然そこに包絡されるんで、こういったものは当然見てるんで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すけど、俎上に上げてませんってそういうことですよ。だからそういう、
0:38:24	少し推本はもちろん単体ごとにしっかり評価してるんですけど、そういう何か断層評価の何ですかね見るべきポイントであったり、他方でそこはちゃんと見てるっていう、御社の
0:38:37	何ですかね、評価の妥当性であるとか少し推本との見る観点の違いっていうところは、もうちょっと書かれてもいいのかなと思いましたんで、
0:38:47	少しご検討いただければと思います基本的には谷さんとか、佐口さんのコメントと同様の趣旨です。以上です。はい。中国電力の加島です。ありがとうございます今、浦さんおっしゃられましたように、弊社としましてはこの寝たきりと位置しているものの北側には、
0:39:05	F57断層南側には大田沖ということで、非常に長い断層が分布していることは、評価としてしておりますので、結果としてですねこの間の断層っていうのはそれらの影響に包含されるというような相場感を持ってございました。ちょっと、
0:39:19	この文章ってどこまで書くかっていうのをもう一度持ち帰ってですね、検討させていただきたいと思います。以上です。
0:39:27	中国電力清水です。若干補足させていただきますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:30	これ前回ですねちょっと我々の資料の書き方が、ちょっとぶれててですね前回コメントいただきましたコメントの中に、理学的な内容と工学的な内容をはっきり分けて書かんと。
0:39:43	どこまでがこの審査でやるべき話がちょっとわかりにくくなるのでということがありますね。
0:39:48	二つ目のポツはですね要は理学的な話だけをちょっと書いてしまったんですけど、そうすると、今みたいな問題がちょっとまたわかりにくくなってきてるので、ちょっとそこら辺りは工夫してですね前回大田沖の話とかも若干書いてたんすけど、
0:40:02	書きにくいというかさっきの理学的な話、構造的な話の中で、ちょっと書きづらいというか、説明しにくいところもあったので、ちょっと日本語を工夫してですねもうちょっと考えてみたいと思います。ありがとうございました。
0:40:22	相田ですすみません滝グリーンのところばかりで申し訳ないんですけど、ちょっと事実関係だけの確認で今、能の話だっというところは、
0:40:33	重々理解しつつも、
0:40:36	青い文字のところの意味として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:40	26 ページで見ると、
0:40:44	何て言いますかねさっき野田の方で言った、青野両矢印の部分が新しく ね滝口になって、
0:40:52	もともと見てたのがその下地に書いてある。
0:40:57	江藤赤井線と鹿野断層線。
0:41:00	ちょっとさっきお話あったと思うんですけども、黒、
0:41:04	評価基準が変わったので、もし抽出しなくなったんだったら
0:41:11	両矢印の左側部分のセンチぐらい、部分のところ、
0:41:17	赤で終わらずに、何か黒い線でもついてて、
0:41:21	その黒い線がついてるんだけども、
0:41:25	推本だったらそう黒線部分も読むんで、
0:41:28	延びましたっていう話かと思ったら、
0:41:31	そうではなくて、黒断層もなくて、
0:41:35	要は同じ。
0:41:36	記録を見て見解の違い断層がある、なしそのものが違ってたという見解 が違っているというそういったご説明なんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:47	はい中国電力の加島です。そうですね結果としてどういうプロフィールをされて、どういうトレイ層相されたところでの詳細な情報が、こちらも公開資料の中です、
0:41:58	わかりえないところがあります。ですので今回も、文献そのものの長さをそのまま評価するのが、一番いいのかなと思って、そういう判断をさせていただきます。以上です。
0:42:11	さあ、わかりました。なのではっきりと3ページの評価基準の違いによるものとかではなくて、文献でそう言ってるから、それを火災をするという
0:42:21	こういった書きぶりになってる。
0:42:24	いうところわかりました。
0:42:26	あとそれと、
0:42:30	次、他のページって、いついつの資料再掲とかっていうのがあったりするんですけど
0:42:36	二十七、八ページあたりってというのは
0:42:40	他のページでいくところ、上の左方に右肩にピンクの箱があったりしるところもあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:47	ここももし、かつて出していていたんであればちょっとそこは書いておいていただきたいんですけど、これって初出なんですかね。
0:42:57	中国電力の鹿島です。今回ですねこのネタ器具ユリに対応する既許可では断層そのものがですね評価して、孤立した短い断層という扱いをしてございましたので、
0:43:08	この 2728 ページというのはこれまでの審査でも、ご説明をしていない測線になりますので、ちょっと右肩のキャプションというのはつけられないかなと思ってございます。以上です。カイダですわかりました。
0:43:20	そういった状況だってとか、わかりました。
0:43:23	私から以上です。
0:43:39	すいません。規制庁の鈴木です。
0:43:40	刀禰滝口のところは他の皆さんとちょっとかぶっちゃうんですけど、
0:43:44	もともとフローでいうと、
0:43:48	ちょっとこれ、最終的にテンロクに反映するときに、このロジックでいくのかどうか今回はもっぱら地震動沖津波に影響がないっていう説明のためにわざわざこのフローにしてるのかっていうのあるんですけど。
0:44:00	このフローだとMでルターで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:02	震度 5 以上で能が出ると、敷地に与える影響が小さい断層として評価って言うてる、ここの部分と、既許可のときにね武ユリの場所ですよ。
0:44:15	26 ページで、影響或いは敷地に与える影響が小さい断層と評価していたってというのは、これは意味としては同じなんですか。違うんですかね。
0:44:29	はい。中国電力の加島です。はい。衛藤。
0:44:33	既許可の時もですね、あのね滝口ここはちょっと
0:44:38	細かな断層の種、
0:44:40	集まりだという評価をしてございましたので、明確な長さまでちょっと落とし込んでいなかったんですが、先ほどもちょっと野田さんからちょっとコメントあったようにこの前後のですね F 57 断層でありますとか大田沖断層、
0:44:54	ここと非常に近接したものでございましたので、個別にちょっと断層を挙げてエムデルダということで、落とし込んではございませんでした。以上です。そうすると、評価の時には我々の説明は
0:45:07	バブラの説明の以前に M Δ で、
0:45:10	本社としては選別をされていて、エムデルダで震度 5 以上になったものについて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:15	初めて審査会合で説明したってそうそういうことなんですけどちょっとそこ違うような気もするんですけどエムデルダって、地震動の評価に入った入口でやっているのはよく見るんですけど、
0:45:26	敷地周辺の活断層評価の時にまず入口MΔでスクリーニングしてるって いうふうに聞いたことがなかったんで、何で今回、これはあくまで基準 地震動への影響基準津波の影響を
0:45:38	ないっていう確認するための説明なんで、便宜上こういうフローで評価 してますって意味なのかなあと、すみません、なのでにて似て非な る意味として使ってるのかとすみません想像して読んでたんですけど。
0:46:03	あ、すみません中国電力の課長まですみません、ちょっと私ども、その 答え方がちょっと、申し訳ありませんちょっとまずかったんですけど も、結局、基本は文献断層、
0:46:15	の評価をする時にまずMΔで影響があるかないかっていうスクリーンを かけてやってるといのは、従前から同じやり方をしております。 で、この辺りにつきましては、
0:46:26	2014年の内閣府さんがまず日本海という部分で、影響の大きな断層とい うのを公開されてございまして、その時にはですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:36	ここのこの2た距離に対応する断層というのは特に記載もなかったの で、そこでは、文献断層として挙げるものがなかったと。
0:46:45	いう形で整理をしてございましたので、
0:46:47	今回改めてですね長期評価の中でこの位置に、の57キロというのが示 されて、初めてここでエムデルダで引っかかってきたというものでござ います。すいませんでした。
0:46:59	ちょっといずれにしても26ページと、5ページのフローでいうと5ペー ジの文献断層とついてるんで、そこで意味が違うってことなわけ ですね。
0:47:09	はい。
0:47:11	でそれをですね。
0:47:13	所々ろう、今同じく26ページでも結構なんですけど、何か本我社とし てはね滝推本地震本部2012と同様他機関括弧産総研のっていう
0:47:25	のが随所に出てきていて、
0:47:29	ですねもともとの3ページを見ると、これ比較でいうと地震本部の方 は、中国電力2014だけではなくて、かなり多数の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:40	インプットの反射断面なり、海底地形のデータを持っていて御社は 2014 に対して、自社で追加でとったものがベースになりますというように書いてあるんですけど、
0:47:53	先ほどだと、
0:47:55	例えば御社も産総研のそのパターン先力とか、多分左に書いてあるものって、御社も使っているし地震本部を使っているものがあると思うのですが、ちょっとこれ別の、
0:48:06	最後まで何かあたかもものすごい地震本部と御社と御社というか九州電力ですけどね、こないだ聞いた時にも、何かものすごい一次データに差異があるようにも、
0:48:18	ここだと読めてしまうんですけど、実際そうじゃないんですよ。ただ、一方で、これ、2021 とか 2020 とかがあるのでちょっとこのあたりが、もしかしたら 1 自体に違いがあるかもしれないし、
0:48:31	この日付日付とか年度だけが 2021 とか 2021 って書いてあるだけで、実は中で使っているデータっていうのは、
0:48:39	御社が許可ですかね許可のときと、に使ってるデータと、新しさという意味では、そもそも差異がないとかですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:49	ちょっとそこら辺が、この3ページだとわかりづらいかたと。何かお互いバッティングするようなデータがあるかのように見えてしまったんで、ちょっとそこはすいません気になったという次第です。
0:49:01	あとですね、さっき途中で少し議論になったのは泉大城かな。
0:49:10	ちょっとここをもう一度とか念押しして確認するんですけど、15ページで、かぎ括弧D2000自身ポツで2013億2022ではとって、ここでは中国電力2014によって、
0:49:24	長さ30キロとトレース。
0:49:27	長さ、評価されているのが30キロの断層ととりあえずを活断層しましたと評価しましたと。
0:49:33	言っていて、
0:49:35	ここは御社としてはってか審査会合資料見ればその通りなんですけど、二、三十ってどこにも書いていませんと。ただ、理由は不明だけれども、地震本部は中国電力2000、
0:49:46	12、
0:49:48	30キロとトレースしているんで地震本部も同じように30キロです。31キロですけど、ここはしましたっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:56	この読み方は、
0:49:59	理由は不明ながら地震本部が中国電力 2014 で 30 キロと。
0:50:05	F k 湾ですね、泉野沖断層と彼ら名付けましたけどそこで 30 キロと評 価されているっていうふうに、
0:50:12	読み取りました。
0:50:14	と書いてありますと、理由は不明ですけど、
0:50:17	そこはそこの通り書いてあるんですよ。
0:50:20	はい。中国電力の鹿島です。おっしゃる通り推本さんの解説の方の中で ですね、こういった記載がございまして我々、こちら参考としまして 18 ページの方にですね、
0:50:33	当時杉尾さんが参考にされたという、2014 年の審査会合資料からの抜粋 でございますが、この当時から、ここについては F 系は断層約 99 キロ というふうに、
0:50:44	記載をしてございますのでちょっと 30 キロの出所が、ちょっとこの記 載の中で読み取れなかったものがございます。いずれにしましても、こ この地域 15 ページの方で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	音波探査測線、記載してございます。この辺りもマルチの調査をその後しておりますので、そこで端部の評価できておるので、当社の評価結果を変える必要はないのではないかとこのように考えてございます。
0:51:09	以上です。はい。おっしゃる通りちょっとこの18ページ、既許可のとき、当時のですね、許可の途中ですけどね。
0:51:16	それを見ても、ちょっと敷地周辺30キロの円の30キロって一応図には書いてあるんですけど、マークとこれを間違えて30キロと引き側を30キロと読み取ったのかどうかはそこは想像でしかないので、
0:51:30	いずれ店を、2014年以降の、きちんとデータをもとに評価してるんで、所管の評価は変わりませんと。
0:51:38	そういうことですね。はい。ちょっとここはそんなに想像でこれ以上30キロというところは書けないので、既存は書き方として評価としては最後、それ以降のデータで判断してますと。
0:51:50	そういうことですか。わかりました。
0:51:55	ちょっと最高冒頭申し上げたんですけど、これ、
0:51:59	ちょっとテンロクくうの活断層評価のところから、あと或いは地震動評価の入口、JMTRと上がるのか、やはり検討用地震の選定の段階、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:09	あの辺りをちょっといじる。
0:52:13	つもりだとすると、それはその時に改めてど、どういうその基準適合の中に落とし込む時にはどういう資料でどういう説明するかっていうのはこれまた改めて、
0:52:25	まず影響があるかないかをはっきりさせた後に、じゃあ、もしこれを申請書に反映電力に反映させるならそれはどういう構成で説明して落とし込んでいくかっちゃうのはそれをまた切り分けて、
0:52:36	お聞きする、今回お聞きすればいいと。
0:52:39	そういうことですかね。はい。中国電力の加島です。今おっしゃられた通り、昆今回はまず、既許可の断層長さを変える必要があるかどうかというところに主眼を絞っています。
0:52:50	ご報告させていただいておりますが、今後の補正ですね、どういう書き方で、どう、どうまとめるかというところは、今からの課題だと認識しておりますので、
0:53:02	またこちらの方はちょっとまだ明確にですね、今の段階で申し上げるあれはないんですけども、今後そういったところも検討して参りたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:11	はい。ちょっとたまたま、いわゆる電力に関わるような申請が今並行で出ているので、せっかくなんで、このタイミングで添6のところに a s - i s 状態で、
0:53:24	反映しましょうとか一応今のところそのように考えてるってことですね。はい。
0:53:28	一応考えを確認できましたありがとうございます。
0:53:38	成長河原ほかにご意見等ございますでしょうか。
0:53:47	規制庁の宮脇です。
0:53:50	ちょっと3ページの推進本部の
0:53:55	海底活断層の認定、
0:53:58	ついてちょっと誤解があるといけないんでちょっと補足させてもらいたいんですけども。
0:54:03	ここの抜粋って書いてあって原則として海底直下の鮮新世以降の地層に5から10メートル以上の上限を与える。
0:54:12	断層或いは撓曲が複数の測線に連続して認められる場合に、活断層と認定したと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:19	確かにこれ解説文の中に、この文章があること私も存じてるんですけども、これ一だけだとですね
0:54:27	鮮新統の地層に変位があって
0:54:31	12 から 13 万年以降のその上の地層、
0:54:34	変形がない場合も、
0:54:37	この評価が活断層として認定しているのかっていうことになりますよね。だけど、実際には、そういう、
0:54:44	ちょっとおかしいんで、おかしいと思ったんで、
0:54:47	基盤グループの方で、
0:54:50	これ確認しましたそしたら
0:54:54	と、地震本部の方から回答がありまして
0:54:59	これは基本的には B 層で判断していると言いそうな変形。
0:55:03	それで判断できないものに関して、鮮新統の地層が、に変形がある場合、活断層と認定したというふうに、
0:55:13	そうですね、確かにですねこれちょっと誤解を生む表現なんですけど前後の、
0:55:20	その解説文を見てみると、そのように読めます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:26	なんで誤解があるといけないんでちょっと補足させていただきます。
0:55:30	以上。
0:55:32	はい。中国電力の鹿島です。ありがとうございますそういった経緯ところに我々もちょっと窓口は問い合わせしたことあるんですけどそういった回答をちょっといただけてなかったんで、今の
0:55:42	お聞きしましてですね、経緯がよくわかりました。ただ今の件を踏まえてもですね今回まとめる資料の結論には影響はないかなと思ってございますのでただ、
0:55:53	今みたいなおっしゃられた点もあるということはですね、認識をしておきたいと思います。ありがとうございました。
0:56:06	後はほかにコメント等ございますでしょうか。
0:56:16	そうしましたら続きまして、評定とスペクトルのご説明の方をお願いします。
0:56:24	はい。中国電力の秋山です。それでは引き続きまして、資料資料番号特 E P の
0:56:32	-002、摂津の甲斐の 01、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:36	標準応答スペクトルに関する検討についてご説明させていただきたいと 思います。
0:56:42	糖水をめぐっていただいて、①ページ目次記載してございます。先月の ヒアリングを受けまして、変更した点については、同様に青字で記載を してございます。
0:56:55	で、今目次で記載しておりますように参考資料、追加をしてございま す。その他本文で修正し、しましたところをご説明いたします。
0:57:07	まず、2 ページ目でございますけれども、これは今標準応答スペクトル に関しては、昨年、基準規則の解釈への対応ということで、指示文書を いただきまして、
0:57:21	その対応、基準地震動変更不要という文書を提出して、それが認める 通知を受領しておりますが、その内容前回、
0:57:32	ヒアリング資料にも若干言及していましたが、今回ちょっとどういった 検討をやったのかというのがわかるように、図を加えるなどして、1 ペ ージ
0:57:43	これを独立させて作成いたしました。
0:57:47	で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:48	二つ目の四角に書いてありますように、この応答スペクトル比を用いた検討というのを行っております、評定とスペクトルに応答スペクトル比、これが地震基盤から
0:58:01	解放基盤までの応答スペクトル比、これを許可の地下構造モデルを用いて算出して、それを掛けることによって解放基盤表面での標準応答スペクトルと、
0:58:12	いうものを求めて、それをS sと比較をしたと、いうものでございます。ご覧いただいておりますように、S sに包絡されているという結果をご説明してございます。
0:58:24	めくっていただいて、3ページ目でございますけれども、これは記載はしておりましたけれども、青字のところを若干修正してございます。
0:58:35	で、今回、この評定等スペクトルに関する検討につきましては、茂木は作成した、ない検討というのをやっております。
0:58:46	で、これどういう考えでこういった模擬を作成したのか前回応答スペクトルであったのに対して今回模擬を作成したのかということ。これは、
0:58:57	明確になるようにということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:00	それを記載してございます。で、一つ目の四角のところに書いてございますけれども、今回の補正申請では、標準応答スペクトルに対して、
0:59:10	審査ガイドの記載を参考にとということで、※で飛ばしてございますけれども、
0:59:16	審査ガイドの方に、審査の方針として、この括弧書きで書いてあるところ、特に2行目のところですが、地震動の継続時間及び振幅包絡線の経時的変化等の特性が、
0:59:31	適切に評価されていることを確認すると、こういった記載ハウ酸を参考にいたしまして、極今回模擬派を作成した上で、標準応答スペクトルを、
0:59:43	震源を特定せず策定する地震動として策定をしたところを明記いたしました。
0:59:51	で結論としては基準地震動の比較を行った結果、標準応答スペクトルに基づく特定せずについては、 $S_s - D$ に包絡されるというところは変わってございませんので、
1:00:03	基準地震動としては選定しておりません。
1:00:07	続きます

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:10	若干、
1:00:12	飛ばしていただいと。
1:00:18	あと 11 ページに、に飛んでいただきまして、茂木はを作るにあたって、何水槽による、茂木葉乃作成及び、
1:00:29	観測記録の位相を使った母屋の作成両方をやってございます。L A N水槽のほうは、これまでご説明したものから変更はございませんで、今回観測、位相を使ったものについて、
1:00:42	どう、どの観測位相を、どういう観点で選んだのかということは、前回ちょっとわかりにくいというような内容、書きぶりでしたので、そこを明確になるように記載したのが、11 ページでございます。
1:01:00	まず観測室を大野議員の作成にあたってということですが、もともとの震源を特定せず、宇野に関する検討ということで、
1:01:10	過去の内陸地殻内地震の震源近傍の記録、震源近傍に相当する記録とも言え、いえるかと思いますが、
1:01:19	それで、かつサイトの特性を反映できると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:22	そういった記録をまずは収集すると、これが本来の目的ということで、 こういったことを明記いたしております。そういった観点で敷地において観測された地震、の中から、
1:01:34	下に四角で囲っております抽出条件、
1:01:38	これによって、震源近傍に相当する内陸地殻内地震というものを、中集中抽出いたしました。
1:01:48	二つ目の四角ですが、抽出した地震の中から、地震規模が最も大きいものの、かつ、地震動レベルも最も大きく大きいものとなっておりますが、
1:02:02	これによって地震のベルレベルが相対的に大きいほうが、ノーリツの影響が逆に相対的に小さくなるということで、ここの
1:02:12	抽出された三つの地震、の中から、一番規模の大きい、また、最大加速度の最も大きい島根県東部の地震、
1:02:22	これを
1:02:24	検討する地震として選定をいたしました。
1:02:29	で、この地震の中から取れている記録の中から、観測点の中で最も深い位置にある標高-135メートルの観測記録をつきまして、
1:02:43	使いまして、その位相特性を模擬は二、三反映をさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:48	あと、なお書きで書いてございますけれども、この等、
1:02:53	抽出した 1991 年島根県東部の地震、これは標準応答スペクトルの検討 用地震、
1:03:02	その収集車を収集したときの条件、これに合致するものというふうにな ってございます。
1:03:11	もう茂木は観測記録を使う、位相を用いた模擬はを作成しまして、
1:03:22	16 ページに飛んでいただきますと、
1:03:30	ここは、
1:03:33	L A N 水槽を使った模擬アウト観測位相を使った模擬やら、これの表
1:03:40	解放基盤表面における地震動レベルの比較でございます。これを見てい ただきますと、両者青と赤を見比べていただきたい。
1:03:50	と思いますけれども、地震動レベルは大体概ね同程度となつてございま す。ということで、この移送が異なることによる違いと、
1:04:00	いうものは地震動レベルで見たときには、大きな差はないといえるとい うことを明記いたしました。
1:04:08	で、引き続きまして 17 ページですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:13	先ほど地震動レベル応答スペクトルで見ましたが、17 ページでは時刻歴は形で比較を行いました。
1:04:23	これを見ていただきますと、
1:04:25	あと二つ目の四角説明加えてございます。
1:04:29	あと、解放基盤表面での最大加速度をまず見ていて、最大加速度を見ていただきますと、水平方向を左側の三つの図ですけども、
1:04:39	これを見ていただくと、観測位相の甘ユリアビル成分の方、一番下になります。これが最も最大加速度が大きい。
1:04:49	鉛直を見ていただきましても、観測位相の方が最も大きいということになってございます。一方、主要動の継続時間、振幅の大きい時間を見ますと、
1:05:06	観測位相を用いた、茂木は模擬地震よりは、那須磯をの、大賀、長井というのが水平鉛直ともに、同様な傾向となっております。
1:05:19	で、これらのことを踏まえまして、
1:05:23	18 ページにまとめてござい比較の、
1:05:28	をまとめてございすけれども、先ほどご説明した応答スペクトルの比較では概ね同程度ということと、時刻歴は県の比較では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:39	最大加速度は観測位相の方が大きかった一方、主要動継続時間は、乱数位相の方が長かったと、いうことを踏まえまして、
1:05:49	今回若干、
1:05:51	一部変更したところですが、このようなことを踏まえて、乱数位相と観測位相を用いた模擬は、これの両方を震源を特定する策定する地震動として採用すると。
1:06:04	ということといたしております。
1:06:09	あと、19 ページですが、
1:06:14	と。
1:06:15	これは最終的な結論でございますけれども、この軟水ソート観測位相を用いた、用いて作成した、茂木
1:06:25	応答スペクトル、これはいずれも基準地震動 $S_s - D$ に包絡されるというところは、結論としては変わってはいません。
1:06:34	で、ちょっと参考を、を付け加えてございます。25 ページ、日本で、
1:06:41	いただけたらと思いますけれども、
1:06:47	25 ページ、参考資料を加えてございます。これは昨年

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:55	昨年度 S s 変更不要文書でご説明をしました、応答スペクトル比を用いた検討による解放基盤表面での標準応答スペクトル。
1:07:06	これを先ほどの図に加えたものになります。
1:07:11	これで見てくださいますと、いずれの応答スペクトルも概ね同程度ということになってございます。
1:07:21	それでなおかつ S s - D に包絡されるというところもちろん、結論として変わるものではございません。こういった情報を参考資料として付け加えてございます。
1:07:37	その他、
1:07:38	あと、その他の参考資料といたしまして、21 ページ以降、
1:07:45	20、
1:07:47	4 ページまで抽出した。
1:07:50	観測位相を用いる地震として、抽出、まず抽出した地震、これらの記録を参考には形と、
1:08:00	応答スペクトルをそれぞれ記載をいたしてございます。
1:08:09	はい。あと、20 ページ最後まとめですけれども、
1:08:14	まとめは先ほどご説明でご説明いたしましたように、前回からの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:23	変更点といたしましては、三つ目の四角のところをですけれども、
1:08:29	と。
1:08:31	この標準応答スペクトルとして、この観測位相を使ったものと、檀水素を使ったもの両方を採用するところをそこを変更いたしてごさいます。
1:08:44	ご説明は以上です。
1:08:50	はい。規制庁の郷です。ご説明ありがとうございました。そうしましたらこれについて確認を行いたいと思います。
1:08:59	まず私から1点。
1:09:02	昨日のページ15をお開きいただきたいと思います。
1:09:12	この観測位相を用いた模擬地震はなんですけども、このページでS I比が0.99となっていますが、
1:09:23	最初、乾燥理想を作成する際にS I比は1.0以上ということになったと思うんですが、これはなぜ0.99でよとしたのかちょっとご説明お願いします。
1:09:37	はい。中国電力秋山です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:40	おっしゃる通り、まず、12 ページで砲塔スペクトル比をというときスペクトル強さの非 S I 比は 1.0 以上これを目標に作成するとしてごさいます。で、
1:09:53	15 ページで結果 0.99 ですけれども、
1:09:58	ほぼ 0.99 幾つの値になってごさいますんでほぼ一位というところもあります。あとはこれは乱數位相と異なりまして L A N 水素だったら乱数を
1:10:11	初期値を変えていろいろやってみたら、やってみて、稲見ができるまで続けるっていう作業もできるんですけれどもこれは、移送もこの
1:10:21	観測位相記録を、から取り出した位相を使うということで、この移送については、これくらいが限界だったというものなので、その
1:10:32	頭いる位相変えるわけにはいかないということと、あともうこれがほぼ 1 E に近いという値ということも、
1:10:41	踏まえ両方踏まえまして
1:10:44	この 0.99 というところで、その前と採用しても問題ないだろうと。
1:10:50	ということで、判断してごさいます。
1:10:54	はい、ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	そうしますと、例えば先ほどおっしゃったように観測井そうだから、変えることはできないとおっしゃってましたが、仮に 0.9910.0、95 とかの場合でも、
1:11:08	ほぼ 1 とみなすとかそういう理由なんですか。
1:11:14	はい。なかなかその敷地幾らにするっていうのは難しいところかと思うんですけども、少なくともこの 0.99 という値を見て、良しとする判断については、
1:11:28	問題はないのかなというふうに考えてございます。
1:11:32	はい、ありがとうございます。
1:11:34	私からは以上です。
1:11:40	ちょっと私もここ間関連で聞きたくて、気になったんですけど、これでもう、
1:11:47	合わせようと思ったら、もっともっとうやったらでできるようなことでもないんですか。
1:11:53	11 以上にすること自体は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:56	振幅振幅調整をどんどんやっていくっていうことはできるかもしれないんですけども、それはやってございます。何回もこう振幅調整をまわして、
1:12:08	やっても、なかなかすべてを満足するのができないと応答スペクトル比の最小値もあったりしますので、
1:12:17	これだけが、
1:12:19	すべての目安、目標値が、を満足するのができなかったということでお願いします。
1:12:27	何か目標を作ってたんだけどちょっとそれは満足。
1:12:32	満足することを目標にしてたんだけどその目標には到達してないけどまあまあほぼほぼ1だからいいんだっていう話ですね、これってでも例えばですよ、その最終的な結果とかでもって見て、
1:12:48	S s - D A 値と比べた時、
1:12:52	とかに何か余裕があるからもうこれでも全然問題ないんだとか層相有効考えとかもあるんですか中国電力的には。
1:13:01	はい。中国電力の阿比留です先ほどのところちょっと補足しますとですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:05	工学的にここを1にするっていうことは
1:13:10	<p>いろんなことをやればですね、できるんですけどもそれをやるとですね</p> <p>この観測記録の位相を使っている意味がなくなって、要するに観測記録と違う顔の波ができちゃうっていうことなので、</p>
1:13:22	<p>我々としてはもう先ほど秋山が申しましたように、もう0.99であれば、</p> <p>我々が考えている位置にもほぼ等しいので、どちらかというと、</p>
1:13:32	<p>その顔を変えないということに重きを置いたというふうな理解をしています</p> <p>ただければと思いますそれと、2点目のお話ですけどももうまさにその通りで、これ基準地震動を超えてたらですね、</p>
1:13:44	<p>いろいろもっとやろうっていうところもあるんですけども、震源を特定せずっていうことでさらにS sにはならないっていう判断もありまして、このようなところでおさめているということでございます以上です。</p>
1:13:59	<p>はいタニです考え確認できました。で、何か二つ目については別にいいんですけど一つ目については何かもうそういう話であるのであれば、</p> <p>0.99のまんま行くのが、</p>
1:14:13	適切だと考えてるっていうようなことを何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:16	ちょっと書いてもらった方が、我々は納得できるかなと思いますので、
1:14:21	はい。
1:14:23	はい、承知しました。
1:14:27	今、15 ページの下のところに米印で、ほぼ
1:14:32	満足し、わずかに満足しないがほぼ1で、
1:14:35	ありと。
1:14:37	いうことで、この波を用いることにするとは書いてますけれども、そこ をもう少し
1:14:45	市長さんに書くというような、
1:14:48	いことで今理解いたしました。
1:15:12	あとちょっとこれも細かい話なんですけど、
1:15:15	今回だからあれですよ 21 ページ以降に抽出した地震の観測記録って こう付けていただいているんです。
1:15:24	ということですけど、違う。21 ページ。
1:15:29	いや、そうですね。
1:15:35	これってあれなんですかね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:37	特異な移送がなかったとか、そういう確認はされていますか。他のサイトで、こういうことをやる時に地震を抽出するときには、
1:15:48	そのサイトで特異なものが取れていないとかその辺確認してくださいとか、そういう
1:15:55	あの子、指摘をしたりするようなこともあるんですけども、
1:16:00	この辺は
1:16:01	この地震が適切だろうっていう話はされてるんですけども、地震記録として他のコミットした地震も、
1:16:11	特に口頭注意が必要な記録ではなかったとかそういうのを確認はしてるかどうか確認させてください。はい。中国電力の秋山です。
1:16:21	藤難波市今の採用した島根県東部の地震の 22 ページは、このご覧の通りで、2324 ページにつきましては、これ規模が小さいこともあって、
1:16:33	かなり、まず最大加速度ちいがかなり小さい、1桁ぐらい 1g a 前後ということで非常に小さいので、
1:16:43	若干、本、本文にもちょっと書いてありましたけど、相対的に見ると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:51	ノイズの影響というのが、島根県東部のに比べたら大きくなるかなというところをまず見ております。あと、衛藤スペクトル形状とかで特異な、
1:17:02	ある特定の周期だけものすごく大きくなっているとか、そういったのが顕著に見えるかというところ若干難波さんの地震の、すごく長周期の部分というところはちょっと右肩上がりのところがありますけれども、
1:17:16	そこの
1:17:19	おかしな記録が取れているというところではないという確認はこういった図を見て、としてございます。
1:17:30	はいたりする状況わかりました。移送もちゃんと確認していますよということかと思えます。
1:17:36	あと1点はですねやっぱり僕2ページから3ページの
1:17:44	応答スペクトル会合で評価したのに9を加えてじゃないとあえてじゃないんですよね。
1:17:50	ちょっと違う評価をしてみましたっていうその辺のこの、
1:17:54	何て言うのかな
1:17:56	理由というかその辺、何かやっぱりこの資料見ても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:01	あんまりこうピンとこなくて、
1:18:04	この
1:18:05	理由っていうのは、このガイドでこういうことガイドでこの3ページの アスタリスクで書かれているようなことがあるから、
1:18:13	新しく評価を、
1:18:16	し直したというか、したということそれに尽きるんですか。
1:18:24	はい。中国電力の秋山です。今、谷さんおっしゃったところ、ま さにその通りではあります
1:18:33	補正申請ということで、S s 変更不要を示すのはまたちょっと違うと ころがあるかなと思い、
1:18:46	しているところです。今回ここにも書いてございますけれども3ページ に例えば、
1:18:52	審査ガイドを参考2の後に書いてございますけれども、
1:18:56	震源を特定せず策定する地震動として、この標準応答スペクトルによる 地震動を、
1:19:03	策定すると、設定すると。
1:19:07	いうことを行うにあたって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:10	どのやり方でやるのがいいのかと考えたときに、やっぱりそこは審査ガイドにも書いてあるように、こういった継続時間だったり、きちんと包絡線の経時的变化だったりと、
1:19:22	こういったところを考慮をして策定する方が、より申請書としては、ベターなんではないかということで、
1:19:34	今回、こういった評価をしたと、理由という理由でございます。
1:19:43	ちょうど今補足いたしますとですね2ページ目の一番最初のところ2ポツのところですね、基本的には今さっきアキヤマ申しましたように基準地震動との比較っていうのはいろんな方法でできるっていうふうに我々思っているんですけど、
1:19:58	まず当初のこの指示の時には、ここの一つ目のポツの3点目のところに書いてありますように、基準地震動変更要否の観点からみたらもうこの方法で十分だというふうに我々理解したし、
1:20:11	さらに規制庁さんもそれで判断いただいたと、いうことでただ、今回申請書を作るにあたって、オーソドックスなやり方、要するに既地震動特定せずの地震動を作ると。
1:20:22	いうやり方而言えば、これの方がベターなんではないかという判断を我々したということでもあります。以上です。はい、谷井です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:32	ベターだからこういうのもやってみたのがベターだからやり直したのか など、その辺がちょっとよくわかってないんですけども。
1:20:39	やりだからやり直したってことでいいんですか。
1:20:46	通常やるとしたらこっちだと思ってるので、最初から地震動を作るとす ればこっちだと思っているのでこっちを今回申請書に載せるでしたと。
1:20:58	ちょっと繰り返しになりますけども、指示書の時には、この観点でも判 断いただけるということをもってこのやり方でやったということになり ます。以上です。
1:21:08	はい。事実確認はできましたのでこれでいいんですけど、ただ我々
1:21:14	評定、応答スペクトル会合のときも、これがガイドに沿っていないと か、
1:21:20	そんなこと思っていなかった。
1:21:22	ガイドももちろんその時出てたし、
1:21:25	なので戸外ガイドでやっぱりポッチでこうこういう会、こういうのがあ るのであれば、
1:21:31	ガイドでこういう記載があるから、何かやり直さなきゃいけなくなった ようにこう思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:38	そんな記載に見えるとちょっと何か。
1:21:41	よくわからないなってというのが、次自分の気持ちだったんですけども、
1:21:46	今の事実確認を踏まえてもちょっと考えています。
1:21:50	はい。確認できました。
1:22:08	規制庁の分ですあと他に、規制庁側から確認事項等ある方いらっしゃいますでしょうか。
1:22:16	佐口さん、ご意見ありますでしょうか。
1:22:22	はい。
1:22:23	して下げてきた。
1:22:25	それと今ちょっといろいろ確認誰が、私も縦にしたいとかという、
1:22:30	口頭で確認したと思っています。
1:22:34	はい、ありがとうございます。
1:22:41	そうしましたら、引き続いて今後の審査の進め方について、
1:22:47	後、ご説明をお願いします。
1:22:52	はい。中国電力の加島です。それでは右肩、資料番号特異日（イ） 003、括弧説こちらで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:00	今後の審査工程についてご説明さして。
1:23:05	お答えいただきます。こちら、
1:23:08	前回ですね、9月の14日に面談の時に下させていただきました資料のリ バイス版ということで、修正かけてございます。修正しましたのは2ペ ージ目ですねこちらのバーチャートのほうですね今回の今の、
1:23:22	実工程を踏まえて、若干修正をしてございます。
1:23:27	6月ダンメンで一度ご説明させていただいたときですね、こちら、今後 の予定といたしまして、今まさにヒアリングを実施していただいている この二つの案件ですね。
1:23:39	こちらの内容について、一度11月で引き続き敷地内の地質地質構造に 関するまず1回会合で、12月にご議論いただいて論点を明確にした上 で、よく
1:23:52	年明けから以降で、また現地でも確認いただくというような形で、工程 の方を聞かさせていただきました。
1:23:59	で、今回その部分ですね、こちらの弊社の方の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:04	ご都合で、大変申し訳ございません先日、先月ですか、11月の27日に1度、長期評価並びに今野教授応答スペクトルをヒアリングさせていただいて、
1:24:14	こちらを踏まえて今回の市のヒアリングの対応ですねちょっと時間を要したためですね、実質、半月程度今遅れている工程かなと考えてございます。従いまして今後の工程のところですね。
1:24:26	これらの今の実施の実績を踏まえまして、半月程度後ずらしにした工程ということで、気化させていただいておりますので、この中でいきますと長期評価並びに時期評定とすべき時、
1:24:40	審査会合もともと11月というふうに希望で申し上げておりましたが、今の時期でございますのでこちらの方も半月程度ずらしたところに三角つけさせていただいて、敷地内並び安定解析も同じようにですね、
1:24:54	後ろにずらさせていただいているような状況でございます。こちら、遅れないようにですね今後引き続き資料作成、本日の対応も含めてですね、対応して参りたいと思っております。以上です。
1:25:08	はい。規制庁の馬場です。ご説明ありがとうございます。
1:25:11	そうしますと規制庁側から確認等ございましたら、お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:25	あ、規制庁のナグラです。
1:25:29	まず、敷地の地質地質構造に関してはこれはいつぐらいに出してくると いう今見通しなんでしょうか。
1:25:38	はい。中国電力の鹿島です。今敷地内の地質地質構造に関する資料をで すね並行して作成してございます。何とか今週中一度出せるようにめど で今作業を進めてございますので、
1:25:50	遅くとも11月の中にはですね、11月中には城間図を提出させていただ いて、一度ヒアリングの中でですね詳細を説明させていただきたいと。
1:25:59	思っております。以上です。
1:26:02	規制庁の名倉です。ちょっと今、説明の中で気になったのが、まずは出 させていただいてって言い方をしたんですけど、
1:26:11	出した上でまた中身は充実させるみたいな雰囲気ちょっとあったんで すけどそういう意味ではないですね。
1:26:17	申し訳ございません。表現がまずかった、申し上げれば、しっかりした 資料を今準備してございますので、こちらをできるだけ早い時期にです ね、お出しできるように作業を進めて参りたいと思います。失礼いたし ました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:31	規制庁の名倉です。
1:26:33	11 月中に資料は提出をするということですね。
1:26:41	そのあとちょっと、中国電力の希望通りにいくかどうかというのは、 まだ未定ですけども、今のところ、このような希望を持っているとい うことですね。
1:26:55	ちょっと確認したいのは後、
1:26:57	特集と所内直流電源両方今
1:27:02	スケジュールに載せているんですけど、
1:27:04	これ多分ん時、うちの地震部門の方では、担当チームが多分違う案件だ と思うんですけど、
1:27:12	この所内直流電源に関しては、
1:27:16	これはちょっと
1:27:20	この場で聞くのもちょっとおかしいかもしれないですけど、地震部門の方 とすり合わせをした上でのこれスケジュールですか。すみません中国電 力の鹿島です。ちょっとプラント側の審査補強ですね本日 W e b の方 で、プラント側の間人も今本社から出ております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:36	当社側の方から今の直流電源の件をフォローいただけませんか。
1:27:44	中国電力吉岡です。
1:27:48	伴戸川の審査としましては12月上旬の
1:27:53	ご審査をえとよ。
1:27:56	お願いをさせていただいております。ただ、敷地については調整しているスケジュールではないと思っておりますが当社側よ。それでよろしかったでしょうか。
1:28:10	すいません中国電力の加島です。今のちょっと繰り返しになりますが、プラント側の方ですね12月上旬からってということで今、当社の方では考えている状況でございます。はい。
1:28:22	すいません。すいませんちょっと社内で申し訳ない。こちらの直流電源の工程12月上旬でせえっと規制庁側とは調整済みということですかね。すいません本社側の方に問いかけてます。
1:28:37	井戸本庄ヨシオカですすいません。はい。希望は出させていただいておりますがまだ確定はしてありません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:52	すいません。ですので、11月上旬の希望ということで、弊社の方から出させていたでいる状況でございます。以上です。
1:28:59	12月上旬で、はい希望させていただいております。
1:29:06	規制庁名倉です。
1:29:08	ということは所内直流電源の位置は多分、2号機のすぐ横の、
1:29:15	コントロールビルのすぐ背後側とか、聞いたんですけど、
1:29:21	ということで、既往の2号機の評価の方をこちらの方は、地質・地質構造敷地内の地質・地質構造としては参照すると。
1:29:31	それぞれの影響の観点で、事業者の方が取りまとめ資料として介護資料だと思いますけど示すという理解。
1:29:42	はいますけど、それでよろしいですか。はい。中国電力の加島です。今、名倉がおっしゃられた通りの理解で結構です。以上です。
1:29:52	わかりました。事業者の希望としては、これぐらいの、1月の半ばぐらい。
1:30:00	2、取りまとめ資料提出して、おそらくこれで、
1:30:05	敷地の地質・地質構造ということでは特重の方の審査、
1:30:11	あとはこれ別途やらなきゃいけないんやから公開だから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:14	いうことはこれ別途会合やんなくちゃいけないということになるのか。
1:30:18	ただ現地調査については一緒に見ていただいて、
1:30:22	というのが合理的じゃないかというふうに事業者としては、計画している るので、
1:30:28	このような今スケジュールを考えているという理解でよろしいですか。 はい。中国電力の鹿島です。今おっしゃられた通りでは、現地調査もで すね、同時に、1度に見ていただければ効率的かなという考えで今整理 はしてございます。以上です。
1:30:44	あ、わかりました。私からは以上です。
1:31:01	その他、規制庁側から何かございますでしょうか。
1:31:07	そうします今、全部で3件をご説明いただきましたけど全体当初何かコ メント等ございますでしょうか。
1:31:19	層相。
1:31:24	特段ないようでしたらこれ、
1:31:35	規制庁のナグラですみません私ちょっと会合出たんで聞いてなかったん ですけど、
1:31:42	26 ページのところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:44	(10) の、寝たきり北方断層体でしたっけ。
1:31:48	ちょっと読み方が合ってるかどうかは別ですけど。
1:31:51	ここら辺の評価を見直すということに関しては、
1:31:55	これはどういうふうな対応をし次条されるというふうに、
1:32:01	回答したかちょっと教えてもらえますか。
1:32:04	中国電力の鹿島です。こちらね滝井ぶりにつきましてはですね、既許可よりもですね、文献の方が長い評価をされていると結果を踏まえまして、
1:32:15	今後、こちらの評価を見直した上で、最終的には、今の補正の内容を、申請書の内容をですね、補正させていただくというふうに、先ほどもご説明させていただきました。以上です。
1:32:33	規制庁の名倉です。
1:32:35	その場合は今までの申請内容、
1:32:39	もうフローに従って、適切な箇所に評価を再評価結果を入れて、
1:32:46	上書きするっていうこと。
1:32:48	ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:50	はい。中国電力の鹿島です。おっしゃられる通りで今までの流れの中で ですね変更すべきところは期して直していく。ちょっと記載ぶりはです ね今後もう少し考えないといけないと思っておりますが、
1:33:00	そういった内容補正の方に反映させていただきたいと思っております。 以上です。
1:33:09	規制庁ナグラです。事業者の意図してるところの希望ということではち よっと理解はしました。
1:33:15	あとちょっと1点だけ確認したいんですけど、
1:33:19	ちょっとこれもう議論されてるのかもしれないですけど3ページ。
1:33:26	この資料上表記だけかもしれないんですけど、
1:33:29	3ページで左側が地震本部右側が当社評価となっていて、
1:33:35	この当社評価ってしてる中で、例えば左側の地震本部の、
1:33:41	国立研究開発法人産総研産業技術総合研究所 19851986、
1:33:49	それから9年 2013 阿部ほか 2010、増本岡村 2011 とか、こういった文 献、石油天然ガス金属鉱物資源機構もそうですけど、
1:34:01	これは中部電力の当社評価って1で右側の既許可の申請の中ではこれら はどういう位置付けになっているんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:11	はい。中国電力の加島です。すみませんちょっと先ほど鈴木様からもちらの件ですね、同様なご指摘をいただいたと思いますんで、書ききれないんですが基本ですねこれら、
1:34:21	音波探査の一次データとしましては、産業総合技術研究所さん、これの記録がベースになったものでございまして、それらのまとめ方として、
1:34:32	例えば、40 キロ以上長い断層だけを抽出して整理したものでありますとか、断層モデルとして整理したとかいう形で、
1:34:43	まとめ方に差異はありますけれども、当社が評価、当社もですね産業総合技術研究所さんのサイフォン清野ババ田崎6歳解析して評価してございますので、
1:34:53	その内数に入っているというふうに認識しております。ただ、3ページの方の資料ではですねそういったところが見てとれませんので、こういった内容も評価済みであるというところをですね、わかるような形で修文させていただきたいと思います。以上です。
1:35:08	規制庁、
1:35:09	球形度ナグラです。わかりました

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:12	評価上考慮しているものと、そうではないものがもしあったとした場合、それを明示的にして欲しいということだけですねそこはほぼ一応評価上は考慮されている。
1:35:24	何らかの形で考慮されていてカバーできている、評価上カバーできているっていう理解でよろしいですね。はい。中国電力の鹿島です。おっしゃられる通りで九州電力さんの評価とか、エリアが違うところはあると思いますがその辺りが誤解を招かないような、
1:35:39	適切な記載をしたいと思いますので、はい。理事会資料に反映させていただきたいと思います。
1:35:45	はい、わかりました。私からは以上です。
1:35:54	はい。ありがとうございました。そうしましたら本日のヒアリングは、登壇なければ、これで終了としたいと思うんですが、中部電力さんがございますでしょうか。
1:36:06	はい。中国電力鹿島です。こちらから特段ございません。以上です。
1:36:11	はい。そうしましたら、これにて非婚本日のヒアリングは終了といたします。お疲れ様でした。
1:36:19	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。